

# このほんしってる？

3・4年生

ここに紹介した本は、図書館にあります。

読みたい本がみつかったら、厚木シティプラザ3階  
こどもの本のフロア、依知北・睦合北・小鮎・荻野・  
森の里・玉川・相川・睦合西・南毛利の公民館に来て  
ください。移動図書館「わかあゆ号」でも借りられます。

本は、ひとり10冊、2週間まで借りられます。

読みたい本が貸出中のときは、予約をしてください。

2022年

厚木市マスコットキャラクター  
あゆ号回



## 3・4年生 よみもの

### 『青空モーオー！ 牧場ですごした七日間』

堀米 薫／作 pon-marsh／絵 学研

転校生の周くんと友達になった陸ですが、周くんがいじめを受け始め、陸はなににもできないまま夏休みに。いとこの大ちゃんのはたらく牧場で、牛のせわや、牧場の人たちとふれあううちに、弱かった自分が少しずつ強くなっていくように感じ、周くんに会いに行こうと考え始めます。



### 『嵐をしずめたネコの歌』アントニア・バーバー／作

ニコラ・ベイリー／絵 おびか ゆうこ／訳 徳間書店

むかし、イギリスのマウスホール村に、モーザーというネコが、漁師のトムとくらしていました。ある年の冬、大きな嵐がつづき、漁師たちは海に出ることができなくなりました。食べものがなくなった村のために、トムは嵐の中、船を出すことにします。

うつくしい色の海や、かわいいネコの絵がすてきなおはなし。

かみ とお みち  
『神さまの通り道 スサノオさんキしてるんですけど』

村上 しいこ/作 柴田 ゆう/絵 偕成社

家のうらにわに新しく建てた勉強部屋で、ぼくは、雲に乗った  
小さな神さまと出会った。神さまは、自分をスサノオノミコト  
(スーさん) だという。「神さまの通り道」に建てたのだから、しばらく  
いるって。それからスーさんは、なにかと話しかけてくる。クラ  
スの「お願い係」の仕事で、なやんでいたときもそうだ。



ひむろ ひみつきち  
『氷室のなぞと秘密基地』

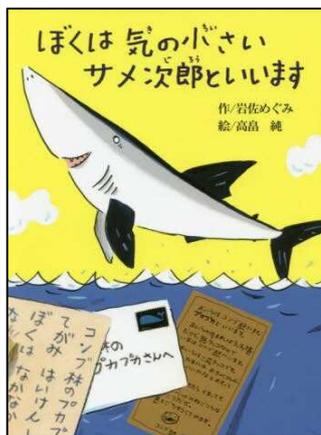
中谷 詩子/作 よこやま ようへい/絵 国土社

春馬は、夏休みの自由研究で、氷室の研究をしようと考  
えます。だがしやの春さんから、むかしは天然ごおりをほぞんする  
場所の氷室があった話を聞き、哲平達と秘密の計画を立て、動  
き始めます。しかし、それが大事件となってしまったのです。

『へんくつさんのお茶会 おいしい山のパン屋さんの物語』

楠 章子/作 井田 千秋/絵 学研

やまのふもとのパンやは、小人のマリや、いたちのおじさんなど  
動物もかいにくる、ふしぎなパンやです。店主は、へんくつな人間  
のおばあさんです。マリは、たくさんのパンの中からクリームパンを  
えらびますが、小さいのでとることができません。そこへおばあさん  
があらわれ、とってくれました。そんなおばあさんをマリはぶっくら  
ぼうだけど、本当はちがうのではと、思いはじめます。



き ちい じろう  
『ぼくは気の小さいサメ次郎といます』

岩佐 めぐみ/作 高畠 純/絵 偕成社

サメなのに気が小さいサメ次郎は、めちゃくちゃコワイ顔に生ま  
れたせいで、なかなか友達ができません。ある日、コンブ林の  
ラッコのプカプカさんからの手紙を拾いました。プカプカさんに  
会ってみたいとなったサメ次郎。いねむりをはじめたアザラシ郵便  
配達員のバッグへ そっと返事の手紙をいれました。

# 3・4年生 しらべる・あそび

## 『巨大空港』

鎌田 歩/さく 福音館書店

この本では、<sup>くうこう</sup>空港の一日が紹介されています。<sup>くうこう</sup>空港を<sup>りよう</sup>利用する人だけでなく、<sup>はたら</sup>働く人も細かく描かれていて、<sup>しごと</sup>仕事の多さにも<sup>おどろ</sup>驚かされます。折りたたみのページを広げると、<sup>くうこう</sup>空港全体がどのようにになっているのか、<sup>てき</sup>立体的にわかるように、<sup>くふう</sup>工夫されています。<sup>くうこう</sup>空港に行ってみたくになりますよ。



## 『警察犬アンズの事件簿』 小さいけれど、大きな仕事』

鈴木 博房/著 岩崎書店

警察犬は大型犬がなるものと、思っていないですか。

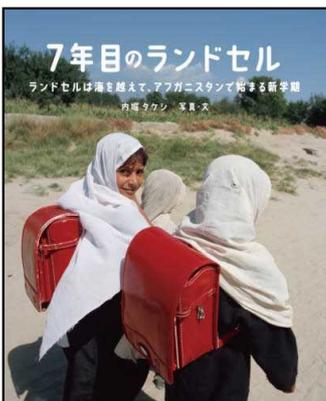
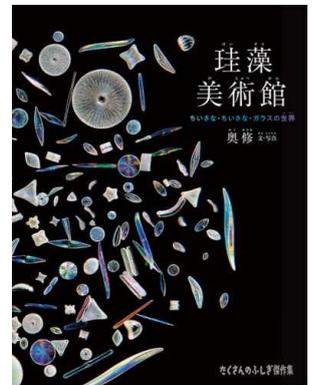
トイプードルのアンズは、<sup>こがたけん</sup>小型犬としては、初めて警察犬になりました。きっかけは、<sup>どうぶつほご</sup>動物保護センターで<sup>いのち</sup>命を救ってくれた<sup>けいさつけんしどうし</sup>警察犬指導士でした。<sup>くんれん</sup>訓練を重ね、<sup>お</sup>小さな体だからこそできる<sup>そうさ</sup>捜査で、<sup>じけん</sup>事件を<sup>かいけつ</sup>解決に<sup>みちび</sup>導くアンズを追った実話です。

## 『珪藻美術館』

ちいさな・ちいさな・ガラスの世界』

奥 修/文・写真 たくさんのふしぎ傑作集 福音館書店

「珪藻」とは、ワカメやコンブなどと同じ「藻」のなかまで、<sup>から</sup>ガラスの殻をもっています。0.1 ミリにもみたくない珪藻の殻を、<sup>けんびきょう</sup>顕微鏡でのぞきながら、<sup>しんちょう</sup>慎重にならべます。<sup>かんせい</sup>完成した珪藻アートは、<sup>はんしゃ</sup>光を反射して、<sup>ふしぎ</sup>不思議な<sup>もよう</sup>模様を見せてくれます。



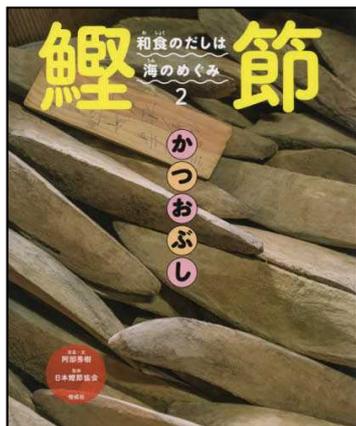
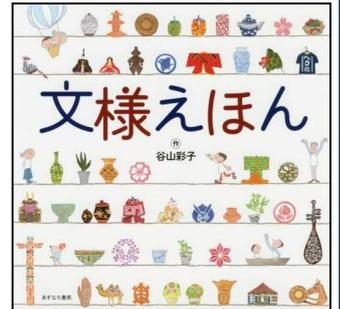
## 『7年目のランドセル』 ランドセルは海を越えて、アフガニスタンで始まる新学期』 内堀 タケシ/写真・文 国土社

小学校の卒業式が終わり、日本で<sup>せお</sup>背負われていたランドセルがアフガニスタンに渡りました。タルワサちゃんは、<sup>せんそう</sup>戦争が続く<sup>つづ</sup>くらしの中で、7年目の<sup>しんがつき</sup>新学期をむかえたランドセルを受け取りました。ランドセルの中から出てきた<sup>はじ</sup>初めて見る<sup>ぶんぼうぐ</sup>文房具を<sup>だ</sup>抱きしめて、<sup>えがお</sup>笑顔がはじけます。

もんよう  
『文様えほん』

谷山 彩子/作 あすなろ書房

もんよう み かざ もんよう れきし じょうもん やよい  
文様とは身の回りを飾る模様です。歴史は古く、 縄文・弥生  
じだい うつわ もんよう たいしょうじだい きもの  
時代の器 や人形にも文様をみることができます。大正時代の着物  
や赤ちゃんの産着には、 植物の麻の葉の形をつないだ文様が使わ  
れていきます。国際交 流で新しい文様も生まれました。家の中や学  
校など、 いろんなどころで文様をみつけてみよう。



かつおぶし  
『和食のだしは海のめぐみ 2 鰹節』

阿部 秀樹/写真・文 日本鰹節協会/監修 偕成社

むろまちじだい りょうり かこうひん  
約500年前の室町時代の料理の本には、カツオの加工品ら  
しいものがあります。鰹節は「世界で一番かたい食品」ともい  
われ、多くの時間といくつもの作業が必要で、長いものは約1年  
をかけて出来上がります。かんたんなので、 かつおぶし  
鰹節をけずった  
「けずり節」でだしをとってみませんか？

ちゅうおうとしょかん かい  
\*中央図書館 3階 こどもの本のフロアのご案内

かい ひら  
3階の開いている時間

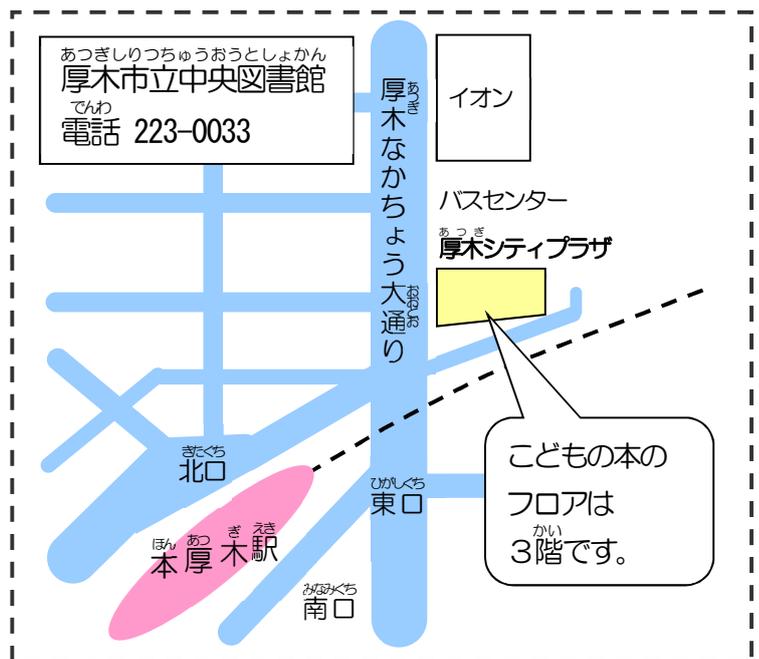
午前9時から午後5時まで

お休みの日

しせつほしゅび  
施設保守日

ねんまつねんし  
年末年始

せいり  
本の整理のとき ほか



としょかん  
図書館は、バスセンター南側の厚木シティプラザの中にあります。